資料地－20－1

情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
地上業務委員会(第１９回) 議事概要（案）

１　開催日時

平成２４年４月２７日（金）１５：００～１６：４０

２　場所

総務省　１０階　共用１０階会議室

３　出席者（敬称略、順不同）

［専門委員］

三瓶　政一(主査)、足立　朋子、飯塚　留美、笠井　康子、佐藤　明雄、高野　祐美子、中津川　征士、中村　勝英、橋本　明

［関係者］

小川　博世、荒木　正治、植田　由美、大槻　信也、小山　敏、樫木　勘四郎、戸田鉄也、枚田　明彦、村上　誉

［事務局］

田沼企画官、加藤係長、奥井官（移動通信課）、丸橋係長、桐山官（衛星移動通信課）、小林課長補佐、合田係長、齊藤官（基幹通信課）

４　配付資料

資料地－１９－１	地上業務員会（第１８回）の議事要旨
資料地－１９－２	ITU-R SG5 関連会合報告書（案）
資料地－１９－３	ITU-R RA-12（2012年無線通信総会）の結果概要
資料地－１９－４	ITU-R WRC-12（2012年世界無線通信会議）の結果概要
資料地－１９－５	JTG4-5-6-7の国内検討体制について
資料地－１９－６	ITU-R SG5 関連会合への日本寄与文書（案）
資料地－１９－７	ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）
参考資料１	ITU-R SG5 WP5A,WP5B,WP5C会合の開催案内
参考資料２	ITU-R JTG4-5-6-7会合の開催案内
参考資料３	ITU-R SG5 関連会合の日本代表団一覧
参考資料４	地上業務委員会　構成員名簿

５　議事概要

（１）地上業務委員会（第１８回）の議事要旨について

【資料地－１９－１】

地上業務委員会（第１８回）の議事要旨について、事務局から説明があった。

なお、修正項目がある場合は５月７日（月）までに事務局へ連絡する旨了承された。

（２）ITU-R SG5　関連会合の報告について

【資料地－１９－２】

事務局から、平成２３年１１月に開催されたSG5（第６回）、WP5A、5B、5C（第８回）会合の報告があり、承認された。

（３）ITU-R RA-12の結果について

【資料地－１９－３】

事務局から、平成２４年１月に開催されたITU-R RA-12会合の報告があり、以下の質疑があった。

（質疑応答）

佐藤専門委員：資料地－１８－３－３について、SGの構成は見直されなかったとあるが、全く議論がなされなかったということか。

橋本専門委員：SGの構成に関する提案はなかったと認識している。

（４）ITU-R WRC-12の結果について

【資料地－１９－４】

事務局から、平成２４年１月から２月にかけて開催されたITU-R WRC-12会合の報告があった。

（５）JTG4-5-6-7の国内検討体制について

【資料地－１９－５】

事務局から、JTG4-5-6-7の国内検討体制ついて説明があり、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

三瓶主査：議題1.1について、検討する周波数帯域は決まっているのか。

事務局：まだ具体的に決まっていない。

中津川専門委員：必要に応じて衛星・科学業務委員会や放送業務委員会の審議

を経るとのことだが、具体的にどのような場合が想定されるのか。

事　　務　　局：そのようなことも含めJTG4-5-6-7対応WGで議論いただければと考えている。

（６）ITU-R SG5関連会合への日本寄与文書案について

【資料地－１９－６】

事務局より、今回開催されるITU-R SG5関連会合への日本寄書案の件数(11件)及び相互に関連のある寄書文書案は一括して提案説明及び質疑を行う旨説明があった。

【資料地－１９－６―１】

樫木氏から「新レポート草案[LMS.CRS2]作業文書に対する作業計画と改訂提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、エディトリアルな修正が施されるとともに、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

三　瓶　主　査：７章にある「Vertical sharing」、「Horizontal sharing」は用語として適切か。

村　　上　　氏：EUでは正式な報告書に記載されるといった実績もあるので問題無いと認識しているが、検討させていただく。

【資料地－１９－６―２】及び【資料地－１９－６―３】

小山氏から「議題 1.18「79 GHz帯短距離高分解能レーダー」のシステム特性に関する新勧告案に向けた作業文書」及び「高度ITS無線通信に関する報告の改訂提案」に関する寄与文書案の説明が行われ、エディトリアルな修正が施された後、承認された。

【資料地－１９－６―４】

植田氏から「WP 5Aに割り当てられた研究課題のカテゴリー変更の提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１９－６－５】

戸田氏から「ITU-R勧告M.1874「3-50 MHzの周波数範囲内のサブバンドで運用する海洋レーダーの技術及び運用特性」の改訂」の寄与文書案について説明が行われ、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

三　瓶　主　査：前回会合で提出した寄与文書と関連するなら、前回寄与文書の更新等の対応が必要ではないか。

橋　本　委　員：前回会合で提出した寄与文書は事前のアナウンスであり、今回の寄与文書がアナウンスされた提案であるなら特に対応は必要無い。

【資料地－１９－６－６】及び【資料地－１９－６－７】

植田氏から「3000GHzを超える周波数帯を用いる固定業務に関する研究課題ITU-R 245/5の削除提案」及び「いくつかのF-series勧告の削除提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１９－６－８】及び【資料地－１９－６－９】

荒木氏から「勧告ITU-R F.383、F.635、F.1099の見直し提案」及び「勧告ITU-R F.1336-3 セクタアンテナパターンの1GHz以下の周波数領域への適用」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

【資料地－１９－６－１０】

枚田氏から「ITU-R Report F.[FS USE-TRENDS] 作業文書草案」に関する寄与文書案について説明が行われ、エディトリアルな修正が施されるとともに、以下の質疑応答の後、承認された。

（質疑応答）

橋　本　委　員：イコライザがなければシステム全体のコストが下がるというのはどういうことか。

枚　　田　　氏：イコライザ以外の部分が高精度であれば、イコライザは必ずしも必要無い。ミリ波については、イコライザを付けないシステムが多い。

三　瓶　主　査：ミリ波はLSIの要求がないのではないか。

枚　　田　　氏：確認させていただく。

【資料地－１９－６－１１】

大槻氏から「勧告ITU-R F.1247-2, F.1249-2およびF.1509-1暫定改訂案の修正提案」に関する寄与文書案について説明が行われ、承認された。

（質疑応答）

三　瓶　主　査：WP7Bにおいて、衛星軌道が増えるたびに勧告等の更新が必要になることから、手続の簡素化を図るために提案されたことは理解できるが、それをNoteとして追記するだけで問題ないのか。

大　　槻　　氏：Noteも勧告の一部であるため、問題ない。

（７）ITU-R SG5関連回会合への対処方針について

【資料地－１９－７】

事務局より、ITU-R SG5 関連会合への対処方針（案）について説明が行われ、承認された。

（８）その他

修正の必要がある寄与文書については、５月８日（火）までに事務局に提出することになった。

また、承認された寄書について、大きく主旨の変更がない限りは、文書案の変更の可能性がある旨、事務局から了承を求め、承認された。

以上